

## 2. ホテル

2021年の中国におけるホテルの稼働状況は、2020年に続いて新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けた。中国政府による積極的かつ徹底的な防疫政策と指導により、マスクの着用、消毒、手洗い、体温測定、ソーシャルディスタンスの確保など十分な対策を施してのサービス提供が定着し、感染状況が沈静化している状況下では確実に経済活動が活発化する一方で、ひとたび感染が再確認されると感染拡大予防のための都市間移動が厳しく制限管理されることから、特に宿泊や宴会、MICEの需要が2021年年初に期待されたほど回復しなかった。

2022年も引き続き「新常态」下での防疫対策を最優先に取り組み、「安心・安全なホテル」を提供していくことが肝要である。一方で、巨大な中国国内需要を「コロナ以前」に近い状態まで喚起していくためにも、一定の条件を満たした場合には中国国内の都市間移動や大型イベントの開催基準などが緩和されることに期待するとともに、海外渡航に制限がなく自由に往来できるよう水際対策も緩和されることに期待する。

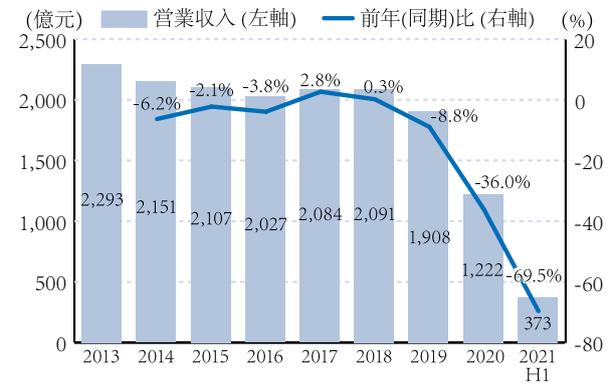
### 中国のホテル事情

#### 新型コロナウイルス感染症による影響

中国政府による積極的な防疫政策と指導により2020年の下半期から売上の回復基調が見られ、下半期だけの比較ではコロナ前の2019年を上回る勢いがあったため、当初2021年はコロナ前の2019年並に売上が回復することが期待されていたが、2020年年末以降中国の各地で再び新規感染者が確認されるようになり、その度に国内の都市間移動が制限され、また大型イベントの開催基準が厳格化されるなど、ホテル事業は大きな打撃を受けた。2021年は売上回復と売上低迷とを繰り返した一年であり、ホテル事業者にとって防疫政策の厳格化と緩和に翻弄された一年であった。

一方でマスクの着用、消毒、手洗い、体温測定、ソーシャルディスタンスの確保など十分な対策を施してのサービス提供が定着したことにより、今後もしっかりと防疫対策をとった「安心・安全なホテル」であり続けることが消費者に選ばれる要因として重要度を増していくと推測される。

図： 中国星級ホテルの営業収入推移



出所：文化観光部 全国星級飯店統計報告

やや古いデータとなるが、香港、マカオを除く一級都市に、汕頭を除く経済特区都市（珠海、厦門）と蘇州、無錫の二都市を加えた主要20都市の2020年の星級ホテルの稼働状況を表1にまとめた。新型コロナウイルス感染症の再拡大が影響し、全体的に客室稼働率は低調であった。

他方、重要旅游都市50都市では、三亜などのリゾート地や長沙や貴陽といった内陸の二級都市が上位20位以内に入っているようになり、リゾート需要や開発が進んでいる内陸部の都市の需要が堅調であることが窺える。

表1： 2020年度 星級ホテル主要都市別稼働状況

順位	客室稼働率OCC		平均客室単価ADR		1日1室当り客室売上RevPAR	
	都市	%	都市	人民元	都市	人民元
1位	南京	48.83	上海	603.04	上海	221.31
2位	済南	47.51	北京	528.14	南京	211.06
3位	厦門	45.91	深セン	502.16	深セン	209.64
4位	成都	44.92	広州	438.81	成都	194.95
5位	杭州	43.74	成都	433.95	厦門	189.40
6位	深セン	41.75	武漢	432.61	済南	185.37
7位	青島	41.11	南京	432.26	厦門	189.40
8位	武漢	41.01	厦門	412.51	武漢	177.42
9位	広州	40.77	蘇州	409.40	杭州	167.19
10位	無錫	40.47	済南	390.14	北京	166.73
11位	重慶	40.04	無錫	387.11	無錫	156.67
12位	西安	39.89	天津	387.06	蘇州	146.71
13位	瀋陽	38.50	杭州	382.21	青島	143.27
14位	上海	36.70	珠海	373.83	西安	133.89
15位	ハルビン	36.52	青島	348.50	珠海	130.93
16位	蘇州	35.84	西安	335.63	天津	130.43
17位	珠海	35.02	重慶	319.66	重慶	128.00
18位	天津	33.70	大連	279.90	瀋陽	106.57
19位	北京	31.57	瀋陽	276.77	ハルビン	99.15
20位	大連	28.68	ハルビン	271.47	大連	80.27

出所：文化観光部 全国星級飯店統計報告

#### 星級ホテル数の推移

中国のホテル市場は、これまで外資系ホテルブランドを中心に増加、発展してきたが、中国の平均所得水準が上がり可処分所得も増えてきたことから、ホテルに対するニーズも高付加価値のサービスが好まれるなど確実に変化してきている。

また、ブティックホテル（精品酒店）やテーマホテル（主題酒店）など、星級といった既存のグレードにとらわれない

新しいカテゴリーのホテルが増加しており、余暇の過ごし方を充実させたいといったライフスタイルや消費活動の多様化によって、今後もさまざまなタイプのホテルが市場に投入される傾向が続くと推測される。

表2：2016～2020年 星級ホテル数と客室数の推移

		2016	2017	2018	2019	2020	20vs16
五星級	ホテル数(軒)	800	816	764	822	820	20
	客室数(万室)	27.5	28.6	26.6	26.0	26.4	-1.1
四星級	ホテル数(軒)	2,363	2,412	2,411	2,443	2,399	36
	客室数(万室)	47.0	50.4	46.8	44.3	43.8	-3.3
三星級	ホテル数(軒)	4,856	4,614	4,409	4,350	4,074	-782
	客室数(万室)	54.9	55.3	53.2	42.4	39.5	-15.4
二星級	ホテル数(軒)	1,771	1,660	1,352	1,268	1,100	-671
	客室数(万室)	12.4	12.5	9.8	7.5	6.2	-6.2
一星級	ホテル数(軒)	71	64	29	37	30	-41
	客室数(万室)	0.3	0.3	0.1	0.1	0.2	-0.2
合計	ホテル数(軒)	9,861	9,566	8,965	8,920	8,423	-1,438
	客室数(万室)	142.1	147.1	136.6	120.4	116.1	-26.0

出所：文化観光部 全国星級飯店統計報告

では、ホテル従事者の雇用を守るためにも家主に対する家賃収入補填なども含めたこれらの支援政策が継続されることが望ましい。

さらに各ホテル事業者の努力が必要であるのは言うまでもないが、中国のホテル業界のサービスクオリティのボトムアップのためにも、また若い世代が夢を持ってホテル業界で働けるようにするためにも、業界団体がホテル業務に適したオンラインおよびオフラインの研修コースを開発し、ホテル事業者へ提供できる様にすることが望ましい。

### <建議>

- ① インバウンド回復のため、ファストトラックの早期再開を要望する。
- ② 家主に対する家賃補填金の実施や雇用助成金などの政府支援政策の継続を要望する。
- ③ 中国国内需要を減速させないため、中国国内外におけるワクチン接種証明(ワクチンパスポート)を保有するなど一定の条件を満たす場合には、強制隔離の免除あるいは隔離日数の減少、MICEや婚礼などのイベント開催を承認する政策の採用を要望する。
- ④ サービスクオリティのボトムアップのため、オンライン研修の開発を業界団体が積極的に取り組む様に指導することを要望する。

## 2022年の展望と課題

2022年は「新常態」の定着およびワクチンの接種率の向上などにより、新型コロナウイルス感染症による影響が全くなくなることはないものの、特に下半期以降には限定的かつ短縮化していくことが期待される。日中関係については、日中国交正常化50周年(2022年)、日中平和友好条約締結45周年(2023年)を背景に、経済面だけでなく政治においても良好な関係がさらに強固に発展していくことが期待され、ホテルを舞台にしたイベントも増えることが期待される。

中国には巨大な国内需要が存在しているとはいえ、全世界的に経済活動を活性化していこうとする動きが主流となっており、インバウンドの回復も待たれる。インバウンドの回復と国内需要を減速させないためにも、実効力のあるファストトラックを早期に再開させると同時に、中国国内外におけるワクチン接種証明(ワクチンパスポート)を保有するなど一定の条件を満たす場合には、強制集中隔離の免除あるいは隔離日数の短縮や大型イベントなどの開催を認める政策が採用されることによって需要が回復することが期待される。

また2020年、2021年とわずか2年間でホテル事業者を取り巻く経営環境は厳しさを増しており、その傾向は2022年も続くと推測される。これまでも政府による電気・ガス料金の優遇、社会保障の軽減やテナント家賃の減免などの支援政策が行われてきたが、ホテル業界が本格的に回復するま